

# 学生の主体性向上を目指して

～全学的な学生支援システムを通して～

\* F版3グループ \*  
黄金ファラオと黒モアイ



## 目次

1. 背景
2. 現状の問題点と課題
3. 学士力
4. 提案
5. システムのイメージ
6. 主体性向上に関する効果
7. 効果測定
8. 副次的効果



## 背景

- 大学の使命の不達
- 学士力や社会人基礎力
- 文科省 中教審の答申



## 現状の問題点と課題

### ● 学生

#### \* 意識低下

- 目的意識、危機感が希薄
- 自己分析ができていない(将来イメージ、客観視)

#### \* 学力低下

- 入学時の学力が低い(入試難易度の低下、AO入試)

### ● 教職員

#### \* ビジョンが浸透していない

- 建学の精神
- 育てたい学生像



「社会が求める人材」(高い学士力・社会人基礎力)と  
「大学が輩出する人材」の乖離



# 学士力

1. 知識・理解
2. 汎用的技能
3. 態度・志向性
4. 統合的な学習経験と創造的思考力

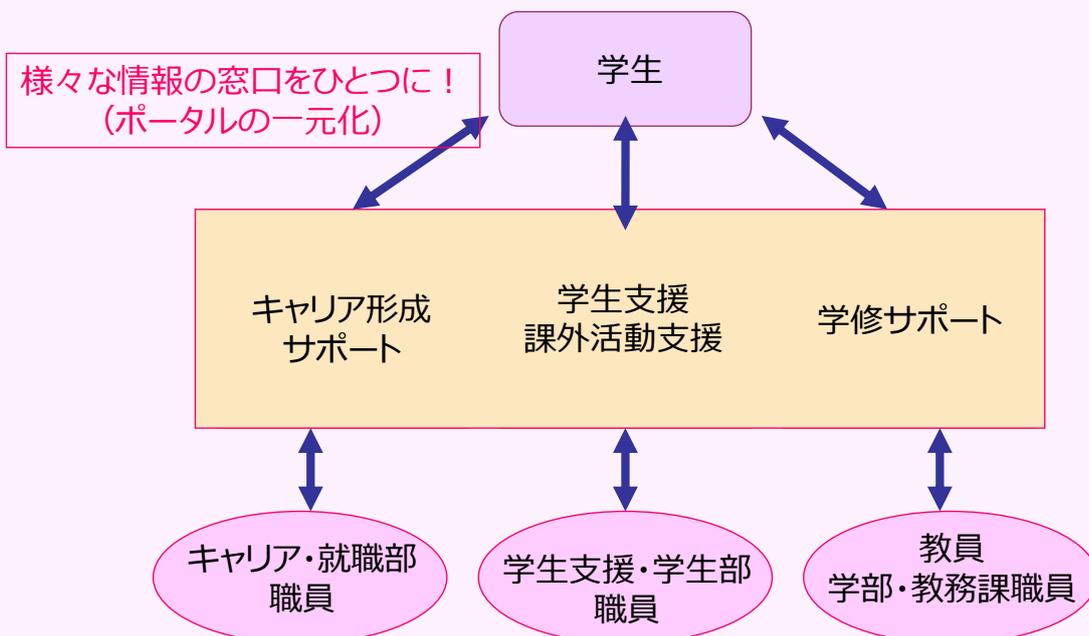


これらを獲得するには**主体性**が大事



# 提案

- 全学的な学生支援システムの構築・発展



## システムのイメージ(学生向け)

### <特徴>

#### ①すべての情報・機能を一元化

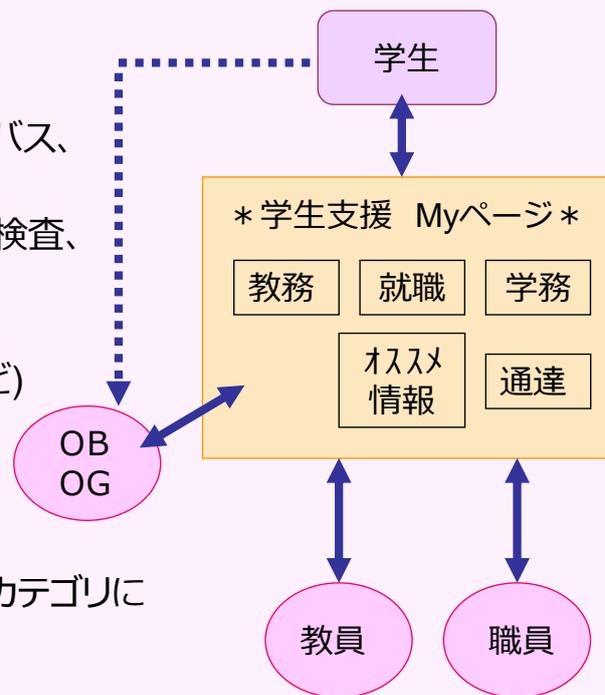
- ・教務系 (履修登録、出欠管理、シラバス、課題提出、LMSなど)
- ・就職系 (目標管理、自己分析・適性検査、OB/OG情報など)
- ・学務系 (課外活動管理、健康診断)
- ・通達系 (休講情報、イベント情報など)

#### ②オーダーメイドの情報提供

- ・アマゾンのような趣向分析システム
- ・ヤフーやリクナビのような、興味あるカテゴリにチェックをつけて情報共有

#### ③OB/OG参加のコミュニケーションツール

- ・SNS、知恵袋



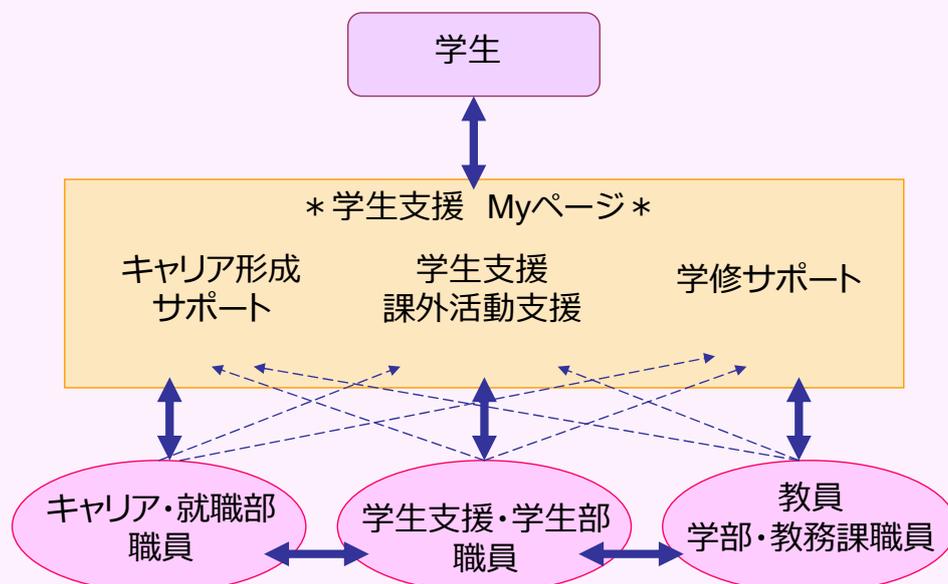
## システムのイメージ(教職員向け)

### <特徴>

#### ①学生のあらゆる情報を一元管理

#### ②他部署・教職員間での学生情報の共有と活用

#### ③学生の傾向監視、アラート通知



# 主体性向上に関する効果

- 学生
  - 学生がやりたいことや好きな事を見つけるきっかけ作り
    - きっかけとなる情報に遭遇する機会が増える
    - 必要な情報に効率的にアクセスできる
    - 自己理解が深まる
    - 就業意識の向上
- 教職員
  - 教職員が連携して効果的に学生支援できる
    - 問題ある学生へ早期に多角的対応を提供
    - 傾向分析(個別・全体)



# 効果測定

- 履歴管理(対応記録、学生の入力など)
- 在学生・卒業生の満足度調査
- 在学生支援同窓スタッフの募集
- 学生の達成度調査・検査・試験
- 教職員、他部署による相互評価



## 副次的効果

- システム利用度の向上、ITリテラシの向上
- 部署間の情報共有による業務改善
- 目指すべき学生像の共有
- 教職協働(業務内容の相互理解)
- 卒業生のつなぎとめ、保護者の評価向上
- 大学ブランドの向上

ご清聴ありがとうございました！

